

日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

1 基本情報	
(1) 案件名	カルナータカ州・マハーラーシュトラ州・オリッサ州・チャッティースガル州の公立病院の上下水道施設及び車いすと乳児対応トイレ建設事業
(2) 事業地	インド ①カルナータカ州 ムンゴッド ②マハーラーシュトラ州 バンダーラ ③オリッサ州 マヘンドラガーダ ④チャッティースガル州 メインパット
(3) 贈与契約締結日及び事業期間	・ 贈与契約締結日：令和6年3月13日 ・ 事業期間：令和6年3月14日～令和7年3月13日 ・ 延長事業期間：2か月18日、令和7年5月31日まで
(4) 供与限度額及び実績（返還額）	・ 供与限度額：49,842,577円（贈与契約上の通貨） ・ 総支出：40,496,234円 （返還額：9,346,343円、利息 円を含む。）
(5) 団体名・連絡先、事業担当者名	ア 団体名：特定非営利活動法人 れんげ国際ボランティア会 【法人番号：3300-05-004658】 イ 電話：0968-73-4851 ウ FAX：0968-57-9913 エ E-mail：info@artic.or.jp オ 事業担当者名：久家 誠司（事務局長）
(6) 事業変更の有無	ア 事業変更承認の有無：有 （ア）申請日：令和6年4月15日（WASH1） 承認日：令和6年5月1日 内容：ムンゴットの病院の外来用トイレ建設の取止め （イ）申請日：令和6年7月11日（WASH3） 承認日：令和6年7月18日 内容：現地事業監督担当の福岡洗太郎を新規採用。 （ウ）申請日：令和6年10月30日（WASH5） 承認日：令和6年10月31日 内容：既存トイレの修復を既存トイレの基礎以外を新築。 （エ）申請日：令和7年2月20日（WASH10） 承認日：令和7年2月28日 内容：事業終了日の令和7年3月14日を4月15日まで延長 （オ）申請日：令和7年4月9日（WASH14） 承認日：令和7年4月10日 内容：事業終了日の令和7年4月15日を5月31日まで延長 イ 事業変更報告の有無：有 （ア）報告日：令和6年7月1日（WASH2）

	<p>内容：会計担当 小西弘真から東パートナーズ（業務委託）へ変更</p> <p>(イ) 報告日：令和6年7月11日（WASH4） 内容：出張期間と経路変更。出張期間中の専門家の現地活動日数の変更。</p> <p>(ウ) 報告日：令和6年10月13日（WASH6） 内容：本部事業・会計担当スタッフ小川幸の新規採用</p> <p>(エ) 報告日：令和6年11月5日（WASH7） 内容：現地スタッフ、アーカンシャ・プラニクの退任</p> <p>(オ) 報告日：令和7年1月31日（WASH8） 内容：久家事務局長、伊藤専門家の出張日程・経路変更</p> <p>(カ) 報告日：令和7年2月3日（WASH9） 内容：小川幸の体調不良による出張中止</p> <p>(キ) 報告日：令和7年3月19日（WASH11） 内容：小西弘真の出張を小川幸に変更。伊藤専門家と小川の出張の出張期間・経路の変更。</p> <p>(ク) 報告日：令和7年3月27日（WASH12） 内容：ムンゴット、バンダーラでの一部プロジェクトを中止。メインパットでのソーラーパネル業者の変更と高架水槽のパイプラインの施工</p> <p>(ケ) 報告日：令和7年4月7日（WASH13） 内容：本部スタッフの旅費の一部を駐車場料金に変更</p> <p>(コ) 報告日：令和7年4月10日（WASH15） 内容：Bashobi Das Gupta を現地スタッフとして新規に採用。Renu Kosla の人役を増加した。</p>
--	--

(ここでページを区切ってください。)

2 事業の概要と成果	
<p>(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)</p>	<p>今期事業達成目標： 水関連施設の老朽化によって安全な病院運営に大きな支障をきたしている候補地5か所の公立病院で： 1) 井戸、高架貯水槽、水道管、雨水涵養設備、排水設備等の上下水道設備の新設・増設・改修による医療環境の改善を目的とする。 2) 車いす・乳児授乳室対応の公衆トイレの新設・増設・改修による医療環境の改善を目的とする。</p> <hr/> <p>上記達成目標は、今回の事業の活動内容が充分実施されたことにより、ほぼ100%達成できた。ただし、ムンゴットの新規トイレは都合により事業中止となった。</p>
<p>(2) 活動内容</p>	<p>1. カルナータカ州ムンゴッド 1) 既存トイレの修復 2) 下水路新設、 3) 新規井戸、新規高架水槽（5立米）、雨水涵養システム・導水管</p> <p>2. マハーラーシュトラ州バンダーラ 1) 車いす対応／授乳室付き外来用トイレの新設 2) 新規井戸、新規高架水槽、雨水涵養システム 3) 井戸水汲み上げポンプのためのソーラーパネル</p> <p>3. オリッサ州 マヘンドラガーダ 1) 車いす対応／授乳室付き外来用トイレの新設 2) 下水路新設 3) 新規井戸、高架水槽、雨水涵養システム 4) 高架水槽、雨水涵養システム、 5) 上水フィルター設備・ソーラーパネル</p> <p>4. チャッティスガル州メインパット 1) 車いす対応／授乳室付き外来用トイレの新設 2) 新規高架水槽</p> <p>5. 事業地でのワークショップ 開催場所: カルナータカ州ムンゴッド、マハーラーシュトラ州バンダーラ、オリッサ州マヘンドラガーダ、チャッティスガル州メインパット 時間: 3時間半 テーマ: 水・衛生インフラの維持管理</p>

(3) 達成された
成果

1. カルナータカ州ムンゴッド、病院

1) 既存トイレの修復・下水新設 目標達成度 100%

既存トイレ（病院のスタッフ用）は老朽化して使用ができなかった。今回基礎部分だけ残して壁や屋根等は全て新しく改修し、浄化槽とつなぐ下水路も設置した。病院職員25人全員が使用し、必要に応じて外来患者なども使用する。毎日フルに稼働している。

2) 新規井戸、新規高架水槽(5立米)

病院敷地内に新たな井戸を掘り、新規の高架水槽を建設した。これにより、病院の活動に深刻な影響を与えた渇水期の水不足が解消され、1日も断水することなく、医療活動が行なえるようになった。

3) 雨水涵養システム・導水管

病院の屋上に新たに雨水取水用の金属屋根を設置し導水管を設置、またスタッフ棟の屋根からも雨水導水管を設置し、これらから集めた雨水を地中に埋めた全長約150mの導水管で、既存の井戸を取り囲むように設置した雨水涵養ピット（雨水浸透柵、3×3×3m）に導水し、井戸の揚水量の増加を図った。

2. マハーラーシュトラ州バンダラ

1) 車いす対応／授乳室付き外来用トイレの新設

外来患者用のトイレで、車いすと授乳対応のトイレを新設した。これで外来者に不便をきたしていた問題が解決された。

2) 新規井戸・新規高架水槽・雨水涵養システム

診療所敷地内に新たな井戸を掘り、新規の高架水槽を建設した。井戸の周辺には雨水涵養ピット（雨水浸透柵）を設け、ここに診療所及び付属作業棟の屋上に親切した金属屋根により、雨水を集水し導水して、地下水の水位を上げ、揚水量増加を図った。これにより、病院の活動に深刻な影響を与えたこれまでの渇水期の水不足が解消され、1日も断水することなく、医療活動が行なえるようになった。

3) 井戸水汲み上げポンプのためのソーラーパネル

診療所の屋上の上に雨水涵養システムのための金属屋根を新たに設置したが、その上にソーラーパネルを設置した。これにより、井戸水汲み上げ用ポンプの電力だけでなく、診療所の電気の大半を賄うことができるようになった。

3. オリッサ州 マヘンドラガーダ、DTR病院

1) 下水路新設

病院前の道路の側溝（下水、50m）の排水が悪いため、幅と深さを広くしたコンクリート製の下水を新設した。

2) 外来用トイレ（車いす対応／授乳室付き）の新設

外来患者用のトイレで、車いすと授乳対応のトイレを新設した。これで外来者に不便をきたしていた問題が解決された。

3) 病院用新規井戸・高架水槽・雨水涵養システム

病院敷地内に新たな井戸を掘り、新規の高架水槽を建設した。井戸の周辺には雨水涵養ピット（雨水浸透柵）を設け、ここに病院の屋上に親切した金属屋根により、雨水を集水し導水して、地下水の水位を上げ、揚水量増加を図った。これにより、病院の活動に深刻な影響を与えた渇水期の水不足が解消さ

れ、1日も断水することなく、医療活動が行なえるようになった。

4) スタッフ棟用新規高架水槽・雨水涵養システム

スタッフ棟用にも、既存の井戸を利用し、上記と同じ高架水槽を新築しと雨水涵養システムを設置した。

5) 飲み水のための浄水フィルター・ソーラーパネル

高架水槽から水道蛇口へ導水する途中の水道管に、飲料として適切さを保つための浄水器を取り付けた。また電気代節約のために、屋上にソーラーパネルを設置した。

4. チャッティスガル州、メインパット

直接裨益者 3,683人（病院年間患者数）

間接裨益者 101,076人（地区人口）

達成度 100%

1) 外来用トイレ(車いす対応／授乳室付き)の新設

外来患者用のトイレで、車いすと授乳対応のトイレを新設した。これで外来者に不便をきたしていた問題が解決された。

3) 診療所用新規高架水槽

診療所の水不足解消のため、高架水槽を新築した。これにより、渇水期にも1日も断水することなく、医療活動が行なえるようになった。

5. 事業地でのワークショップ

1) 開催地・日時・参加者数

オリッサ州、マヘンドラガタ、メンラ病院

2025年5月19日、14名

カルナタカ州、ムンゴット、DTR病院

2025年5月25日、34名

マハラシュトラ州、バンダラ、DTR病院

2025年5月27日、16名

チャッティスガル州、メンパット、地域診療所、

2025年5月29日、14名

参加者合計 84名

2) テーマと内容

「水・衛生インフラの維持管理の考え方と実践」

全体の理論的説明。グループで事業地の状況を地図に作成。問題点を皆で抽出。解決法について討論。現場の見学。具体的な維持管理方法の実習。総括

3) 実施後の数値評価

回答数 82 名 % (/全体数)

質問事項	内容	結果 %
内容について	テーマは妥当だったか	97.6 (80/82)
	内容は分かり易かったか	96.3 (79/82)
	やり方は参加型であったか	97.6 (80/82)
	有意義だったか	95.1 (78/82)
総合的評価	非常によい	66.0
	よい	25.0
	普通	6.0
	無回答	3.0
やり方は参加型だったか	非常に	89.0
	普通	10.0
	参加型でなかった	1.0
知識が広がったか	広がった	98.7
また参加したいか	参加したい	96.3
価値があったか	価値があった	98.8

※参加者の自由記述コメント

- ・ こんなワークショップは居留地で初めてであった。
- ・ 参加型で非常にプレゼンもよかった。
- ・ 話だけでなく実践的で非常に有意義な知識を得ることができた。
- ・ 学校でもこのようなワークショップをやってほしい。
- ・ 定期的に開催して欲しい。

4) まとめ

参加者のほぼ全員が高評価を与えており、非常に有意義であった。事業地では過去にこのようなワークショップが開かれたことはなく、参加者にとって初めての経験であり、内容は理論と実技、現場での見学などを含む実践的なもので、参加者の興味を強く引くものであった。これで、当該施設や地域の水・衛生インフラに強い関心を抱くようになり、施設の当事者としてその維持管理について責任感が芽生え、他からの支援に頼り過ぎず、自立的な思考を促すことができたと考えられる。

結論

1. 水不足に対する問題解決の達成度

渇水期の水不足の問題に直面していた各事業地の病院は、今回の高架水槽の新設により、貯水量を増した。増加した水の量は、以下のとおりである。

成果を図る指標：各病院における新に増加した日常の貯水量

事業地	増加した貯水量(ℓ)
カルナタカ州ムンゴット	5,000
マハラシュトラ州バンダラ	5,000
オリッサ州マヘンドラガダ	8,000
チャティスガール州面メンパット	2,000

また雨水涵養システムにより、病院などの建物に降った雨水が表水として流失しないように、導水管で井戸を取り囲む雨水涵養ピット（浸透樹）に

導水浸透させ、井戸の地下水位を上げ取水量の増加を図った。
 以上2つのシステムで、断水により病院の機能に支障をきたすことはなくなった。したがって事業目標は100%達成できた。

2. トイレ不足に対する問題解決の達成度

ムンゴットは、予算の問題により外来患者トイレの建設が中止になった。他の事業地では事業を全て完了できた。トイレは車いす対応で、乳児のおむつ替えにも対応しており、弱者に優しいトイレを実現できた。この点は病気で弱った人、高齢者、妊産婦など弱者が多い病院のトイレとしては、当然のことである。そのようなトイレが今まで全くなかった病院にそれを実現できて非常に良かった。事業目標の達成度は90%。

3. 事業地でのワークショップ

参加者のほぼ全員が高評価を与えており、事業において建物などハードの整備と同時に、住民の意識の改革がいかに重要か明らかとなった。特に将来の持続可能性を考えると、事業の現地は必要不可欠であり、その点で事業の意図を充分達成できたと言える。達成度95%。

4. 裨益者

裨益者は、各事業地の通常の患者が直接の裨益者である。間接的にはその地域の住民が皆裨益者となる。具体的には以下のとおりである。

裨益者数

事業地	直接裨益人口 (年間患者数)	間接裨益人口
カルナタカ州ムンゴット	7,600	142,500
マハラシュトラ州バンダラ	1,692	2,568
オリッサ州マヘンドラガダ	2,072	16,200
チャティスガール州面メン パット	3,683	101,076
合計	15,047	262,344

5. SDGsの観点からの評価

SDGsについて本事業は、「3. 全ての人に健康と福祉を」と「6. 安全な水とトイレを世界中に」に該当する。本事業の活動成果はこの2点に照らしても、この目標を達成できたと言える。達成度95%。

(4) 持続発展性

成果の維持・継続の見通し

新築・増築・改修された各事業地の建物は、それぞれの病院に引き継がれ、今後も継続的に運営される。

維持・管理方法がどのように現地提携団体に引き継がれていくか

今回の事業で建設した高架水槽や公衆トイレなどの維持管理について、病院スタッフや居留地代表、村のリーダーなどを対象にワークショップを行ない、維持管理の考え方や具体的な技術などを講習し、実技として実践的に訓練を行なった。これにより、こうした施設の持続可能性を目指した維持管理の意識が高まり、将来的に自分たちで自律的にこれやっていく、という意識が醸成された。

3 その他	
(1) 固定資産譲渡先	ラップトップパソコンをムンゴットの病院に譲渡した。
(2) 特記事項	特になし。

完了報告書記載日：令和7年9月29日

団体代表者名：れんげ国際ボランティア会

代表者肩書 氏名 川原 英照

団体としての最終版であることを確認済み（要チェック）

【添付書類】

- ① 日本NGO連携無償資金収支表（様式4-a）
- ② 日本NGO連携無償資金使用明細書（様式4-b）
- ③ 人件費実績表（様式4-c）
- ④ 一般管理費等 支出集計表（様式4-d）
- ⑤ 事業内容、事業の成果に関する写真（様式4-e）
- ⑥ 外部調査報告書
- ⑦ 残余金発生の理由書（該当する場合）